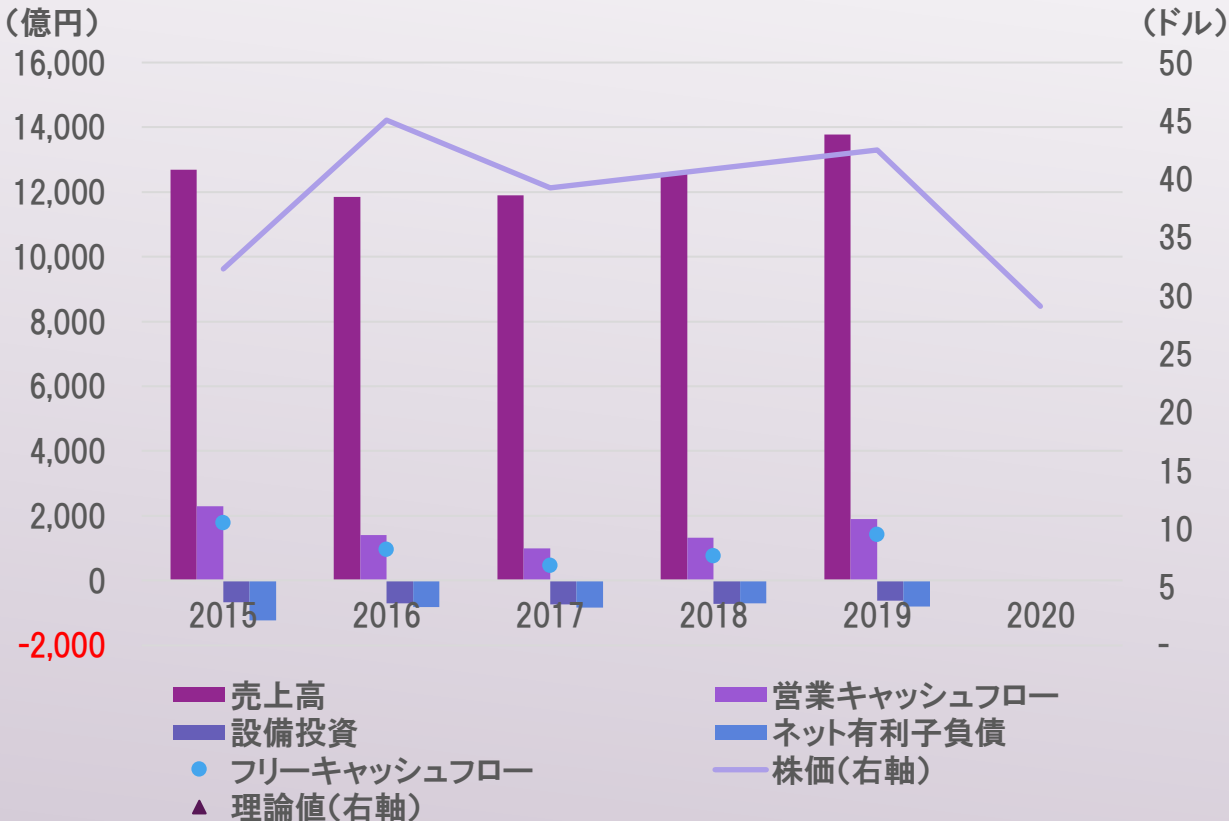


大塚ホールディングス株式会社

大塚ホールディングス株式会社は、医薬品および栄養補助食品の製造・販売を行っている。医薬品、栄養補助食品、消費者製品、その他の事業セグメントを通じて運営されている。製薬セグメントは、中枢神経系、腫瘍学、感染症に焦点を当てた治療薬と輸液を製造している。ニュートラシューティカルズセグメントは、栄養食品、医薬部外品、健康ドリンク、および家庭用の栄養補助食品、医療施設、介護ユニットなどの栄養製品を開発および販売している。消費者製品セグメントは、ミネラルウォーター、食品、および飲料を販売している。同社の製品には、ポンカレー、マンナンヒカリ、ReSOLAなどがある。その他のセグメントは、機能性およびファインケミカル、光学検査装置、および臨床診断機器を販売している。同社は1950年に設立され、本社は日本の東京にある。

M&A



日付	時間	ニュース
2020/05/22	-	製薬業界 きょうのニュースまとめ読み(2020年5月22日)
2020/05/22	-	インターハイ中止となった今、高校生へエールを。「明日へのエールプロジェクト」開始！第一弾は、全30競技の高校生に向けアスリートがオンライン授業を実施
2020/05/22	-	寄付 小田原・箱根・湯河原・真鶴 タウンニュース
2020/05/22	-	プレスリリース・タイトルリスト 2020/05/22 薬事日報ウェブサイト
2020/05/22	-	「初音ミク PROJECT G」始動 VRライブイベント開催か
2020/05/21	-	大塚製薬「オロナミンC」に出演している女性は？(CDジャーナル)
2020/05/21	-	2019年の大うつ病性障害市場の分析と正確な見通し- H.ルンドベック、大塚製薬、アストラゼネカ、アルケルメス

N評: NNNNN

フリーキャッシュフローは売上高の10.4%と相応に高く、ネット有利子負債はフリーキャッシュフローの-0.6倍とマイナスであるため最高評価。株価は下落しており29ドル。

※2020年の数字は既発表の四半期業績を単純に12か月換算したもの。

※理論値は過去の一株当たり利益と株価の関係を今期の予想一株当たり利益に適用して算出。